

**2018年度**  
**IR説明資料**  
(2019年3月期)

2019年5月8日

**不二製油グループ本社株式会社**

## 目次

1	連結損益概要(4Q : 3ヶ月実績)	…	3 ページ
2	2018年度連結損益概要	…	4
3	連結 貸借対照表	…	5
4	連結 キャッシュ・フロー	…	5
5	2019年度通期業績予想	…	6
6	連結 指標	…	7
7	設備投資額・減価償却費の推移	…	8
8	配当の推移	…	8
9	売上高・営業利益 (地域・部門別)	…	9
	参考. 2018年度売上高・営業利益 (地域・部門別)	…	10
10	中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)	…	11
	参考.【不二製油(日本)】主要製品別 国内販売数量・売上高 (対前年同期比)…		12
	参考.海外及び中計戦略製品群 販売数量	…	12
11	主要関連相場	…	13
12	中期経営計画	…	14
13	トピックス	…	14

# ◆ 1. 連結損益概要(4Q : 3ヶ月実績)

## 第4四半期 (3ヶ月実績)

(単位：億円)

		17年度 4Q	18年度 4Q	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高※	油脂	293	266	▲27	▲9.2%
	製菓・製パン素材	391	390	▲1	▲0.2%
	大豆	88	86	▲3	▲3.2%
	合計	772	742	▲30	▲3.9%
営業利益※	油脂	19	18	▲1	▲5.5%
	製菓・製パン素材	32	13	▲18	▲57.7%
	大豆	5	6	+1	+17.7%
	連結調整・グループ管理費用	▲10	▲12	▲2	▲23.1%
	合計	47	26	▲21	▲44.4%
営業利益率		6.0%	3.5%	▲2.5pt	-
経常利益		44	25	▲19	▲42.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益		27	26	▲1	▲3.9%

※売上高は、18年度からフジオイルタイランド社のセグメントを油脂部門から製菓・製パン素材部門にセグメント変更。対前年同期比は修正済み。  
 営業利益は、17年度までグループ管理費用を各セグメントに配分していたが、18年度からは、グループ管理費用を外出して計上。  
 17年度4Qは遡及修正済み。18年度の増減額、増減率は17年度のグループ管理費用を外部に計上した数値。

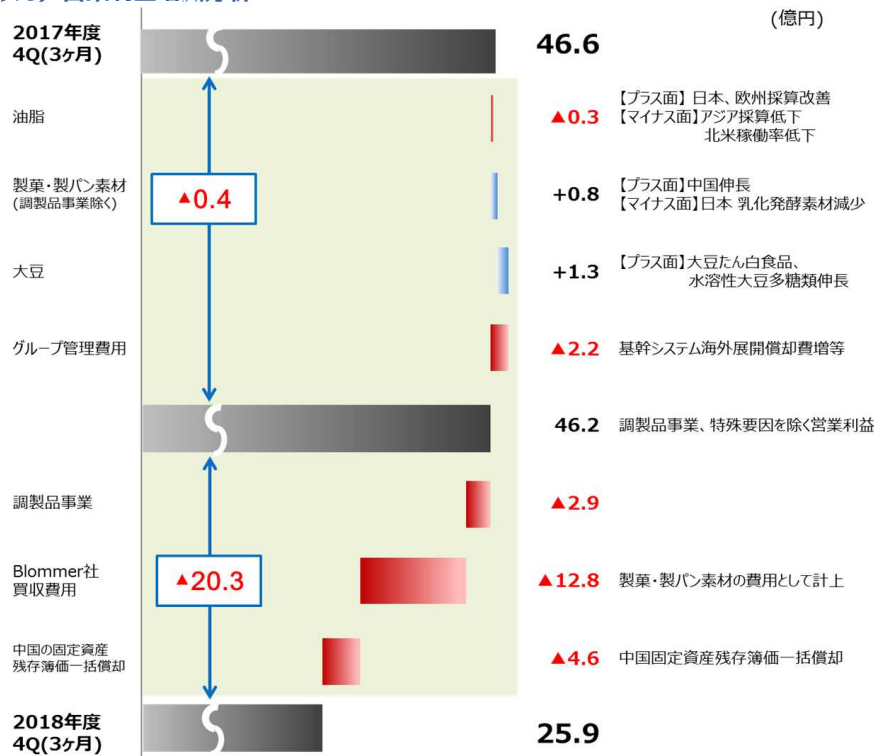
## 決算のポイント(4Q : 3ヶ月実績)

### 営業利益

・4Qの営業利益は、アジアや米州の不振に加え、Blommer買収費用（13億円）、中国の残存簿価の一括償却（5億円）等により減益も、日本の油脂が堅調に推移したことから、2019年2月修正計画から約5億円上振れて着地。

- ・ **油脂** ・日本での採算重視の販売、欧州の採算改善等があったものの、アジア、米州の減益により、全体で減益。
- ・ **製菓・製パン素材** ・中国のフィリング・マーガリンが堅調だったものの、アジアでの調製品事業の下振れ、また、Blommer買収費用の計上等により減益。
- ・ **大豆** ・大豆たん白食品や水溶性大豆多糖類の販売の改善などにより、増益。

## 4Q (3ヶ月) 営業利益増減分析



## ◆ 2. 2018年度連結損益概要

2018年度

(単位：億円)

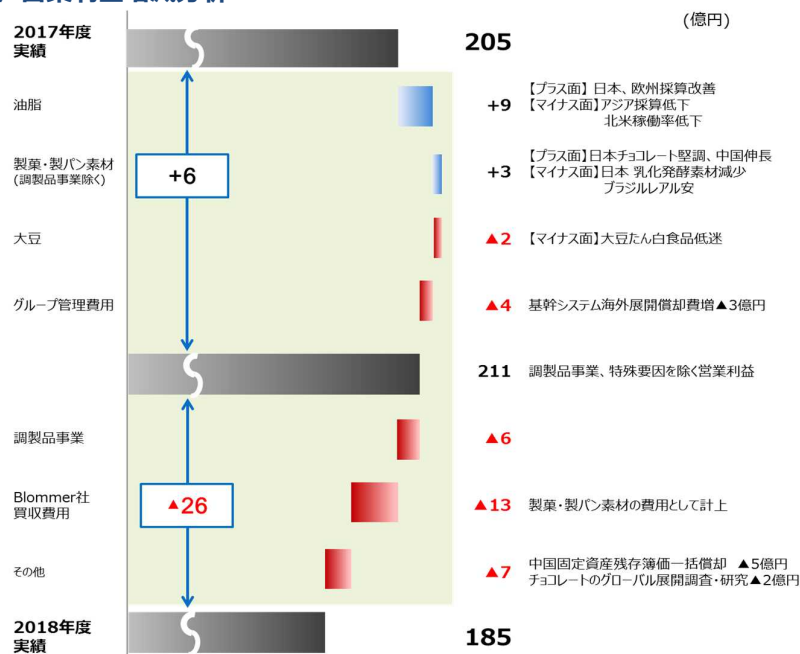
		17年度	18年度	前期比	
				増減額	増減率
売上高	油脂	1,136	1,097	▲39	▲3.4%
	製菓・製パン素材	1,561	1,551	▲10	▲0.6%
	大豆	380	361	▲19	▲5.0%
	合計	3,076	3,008	▲68	▲2.2%
営業利益	油脂	73	81	+9	+11.8%
	製菓・製パン素材	130	108	▲22	▲17.0%
	大豆	35	33	▲3	▲7.3%
	連結調整・グループ管理費用	▲33	▲37	▲4	▲10.8%
	合計	205	185	▲20	▲9.5%
営業利益率		6.7%	6.2%	▲0.5pt	—
経常利益		200	182	▲18	▲9.0%
親会社株主に帰属する当期純利益		137	116	▲22	▲15.7%
EBITDA		310	300	▲10	▲3.4%
ROE		8.8%	7.3%	▲1.5pt	—
営業キャッシュフロー		282	226	▲56	▲19.7%
投資キャッシュフロー		▲145	▲791	▲646	▲445.1%
フリーキャッシュフロー		137	▲565	▲702	—
NET有利子負債		436	1,392	+956	+219.3%
NET運転資本		633	171	▲463	▲73.0%
NET有利子負債/EBITDA		1.4倍	4.6倍	+3.2倍	—
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)		103日	※ 105日	▲2日	—

※FY2018期末はBlommerを除く既存事業

### 決算のポイント (18年度通期)

- 営業利益** ・油脂部門では、日本、欧州などの伸長により増益だったものの、製菓・製パン素材部門の調製品事業の低迷、大豆部門の減益に加えBlommer社買収の費用計上（13億円）、中国の固定資産残存簿価一括償却の計上（5億円）等により減益となった。
- ・**油脂** ・北米での寒波・ハリケーンの影響による稼働低下、アジアで油脂のコモディティ品等の販売低迷があったものの、日本での採算を重視した販売の継続、欧州での原材料の採算改善により増益となった。
- ・**製菓・製パン素材** ・日本でのチョコレートや、中国でのフリンギング、マーガリンの堅調な販売が続いたものの、Blommer買収費用の計上、アジアでの調製品事業の乳製品価格の影響、米州でのレアル安の影響などにより減益となった。
- ・**大豆** ・大豆たん白食品の設備修繕による工場の休止及び工場再開後の販売低迷により、減益となった。
- 当期純利益** ・吉林不二蛋白有限公司の減損、災害による損失等により特別損失を計上。
- CCC** ・Blommerを除く既存事業で105日、Blommer単独では137日。

### 2018年度 営業利益増減分析



### ◆3. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	17年度 期末	18年度 期末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,308	1,854	+546	現預金、売上債権、棚卸資産の増加
固定資産	1,399	1,980	+581	のれんの増加
資産合計	2,707	3,834	+1,127	
有利子負債	566	1,605	+1,038	借入金増加
その他負債	492	637	+145	買掛金の増加、未払金の増加
負債合計	1,058	2,242	+1,183	
純資産合計	1,649	1,592	▲57	資本剰余金の減少、 為替換算調整勘定の減少

#### ポイント（18年度期末）

資産の部：Blommer買収に伴い、流動資産では棚卸資産が、固定資産では有形固定資産及びのれんが増加したことから、2018年度期末の資産合計は3,834億円（2017年度期末比+1,127億円）と大幅に増加した。

負債の部：Blommer買収に伴い、短期借入金が17年度期末比+945億円、長期借入金が同+143億円それぞれ増加したことを要因に、2018年度期末の負債合計は2,242億円（2017年度期末比+1,183億円）と大幅に増加した。

純資産の部：株主資本は、利益剰余金の増加により増加したものの、その他の包括利益累計額合計が、為替換算調整勘定の減少により減少したことから、2018年度期末の純資産合計は1,592億円（2017年度期末比▲57億円）と減少した。

### ◆4. 連結 キャッシュ・フロー

(単位：億円)

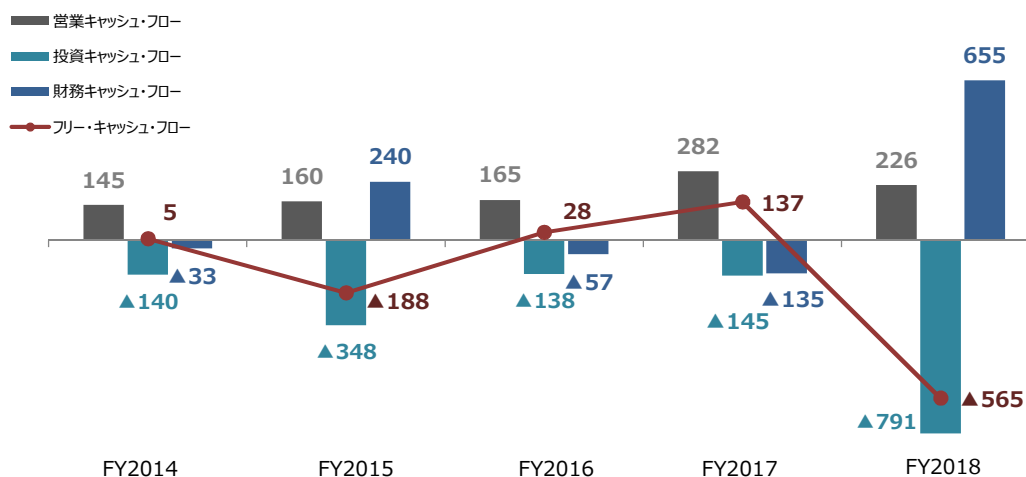
	17年度	18年度	前年同期比	主な増減要因
税金等調整前当期純利益	188	165	▲23	利益の減少のために減少
減価償却費	109	120	+11	
他増減	▲15	▲59	▲44	売上債権の減少、たな卸資産は増加
営業キャッシュ・フロー	282	226	▲56	
投資キャッシュ・フロー	▲145	▲791	▲646	Blommer買収のため増加
フリー・キャッシュ・フロー	137	▲565	▲702	
借入金等による調達・返済	▲92	754	+846	Blommer買収のための借入金増加
配当金支払等その他	▲43	▲99	▲57	
財務キャッシュ・フロー	▲135	655	+789	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	-	▲2	
現金及び現金同等物増減額	1	82	+81	
現金及び現金同等物残高	130	212	+82	投資は増加したものの、借入による財務の増加により、増加

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

#### キャッシュ・フロー

(単位：億円)



## ◆5. 2019年度通期業績予想

### 2019年度通期業績予想

(単位：億円)

	18年度 実績	19年度 予想	前期比		
			増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	1,097	1,139	+42	+3.9%
	業務用チョコレート	686	1,874	+1,188	+173.3%
	乳化・発酵素材	865	915	+50	+5.8%
	大豆加工素材	361	372	+11	+3.0%
	合計	3,008	4,300	+1,292	+42.9%
営業利益	植物性油脂	81	91	+9	+11.5%
	業務用チョコレート	74	103	+29	+38.5%
	乳化・発酵素材	33	43	+10	+29.5%
	大豆加工素材	33	41	+8	+25.6%
	連結調整・グループ管理費用	▲37	▲38	▲1	▲3.9%
合計	185	240	+55	+29.5%	
営業利益率	6.2%	5.6%	▲0.6pt	-	
経常利益	182	220	+38	+21.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	116	152	+36	+31.2%	

※19年度にセグメント変更を実施。製菓・製パン素材部門を、業務用チョコレート部門と乳化・発酵素材部門に変更。

また、セグメント名を油脂部門を植物性油脂部門、大豆部門を大豆加工素材部門にそれぞれ変更。18年度は遡及修正済み。

### 決算のポイント（19年度通期）

#### 営業利益

・植物性油脂部門での、アジアや米州の回復を見込むことに加え、業務用チョコレート部門ではBlommer買収費用の減少とBlommer新規連結寄与、日本での減価償却方法の変更（定率法→定額法、+8億円）、日本での業務用チョコレート部門の伸長、また、大豆加工素材部門での大豆たん白食品の改善等により、増益を計画。

#### ・植物性油脂

・日本、欧州では、原料改善効果の一巡を見込むものの、東南アジアではチョコレート用油脂を中心に販売拡大、北米での寒波・ハリケーンの影響がなくなることやチョコレート用油脂の販売伸長などにより、全体で増益計画。

#### ・業務用チョコレート

・Blommer買収費用の減少、また、Blommerの新規連結により増益を計画。  
地域別では、日本でのカラーチョコレートの伸長、アジアや中国の伸長を計画。

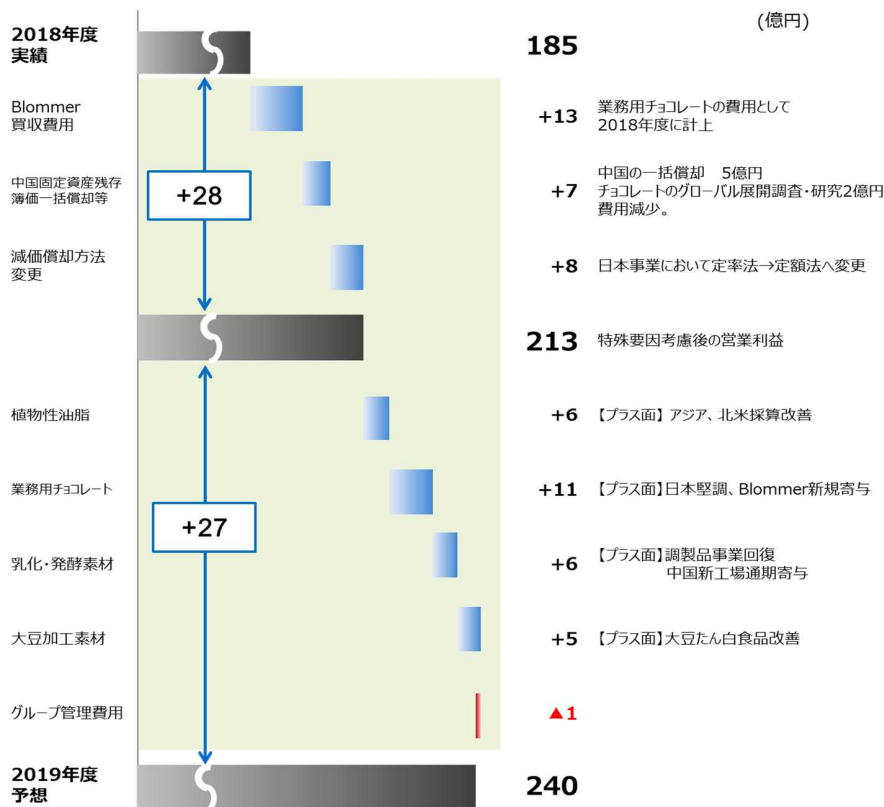
#### ・乳化・発酵素材

・日本では販売先の拡大や顧客ニーズに応じた製品の開発による伸長に加え、中国では新工場の通期寄与などにより増益を計画。

#### ・大豆加工素材

・大豆たん白食品の販売回復、水溶性大豆多糖類等の機能剤の販売伸長などにより増益を計画。

### 2019年度営業利益増減分析



## ◆6. 連結 指標

(単位：億円)

	16年度 実績	17年度 実績	18年度 実績	19年度 予想
EBITDA	299	310	300	392
設備投資額	136	147	159	220
減価償却費	96	100	110	152
有利子負債	657	566	1,605	1,535
NET有利子負債	529	436	1,392	1,366
NET運転資本	629	633	171	745
NET有利子負債/EBITDA	1.8	1.4	4.6	3.5
1株当たり純資産	1,754円	1,864円	1,820円	1,954円
自己資本比率	55.4%	59.2%	40.8%	42.7%
D/レシオ	0.44	0.35	1.03	0.91
Net D/レシオ	0.36	0.28	0.87	0.80
営業キャッシュフロー	165	282	226	320
フリーキャッシュフロー	28	137	▲565	101
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	9.4%
ROA	7.3%	7.4%	5.5%	5.7%
売上高営業利益率	6.7%	6.7%	6.2%	5.6%
CCC	110日	103日	※ 105日	105日

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。

・純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/レシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

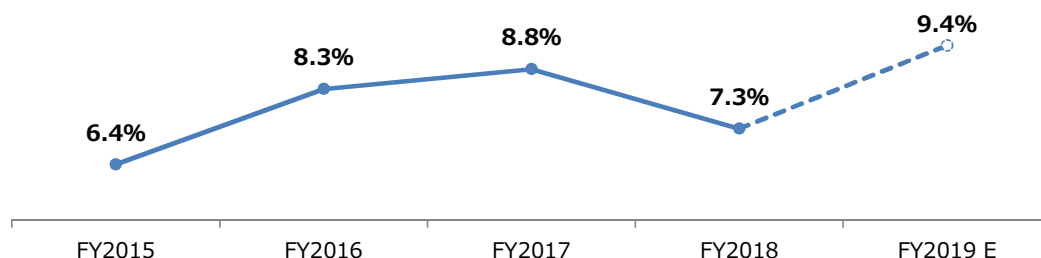
・Net D/レシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 株主資本

・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)

・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)

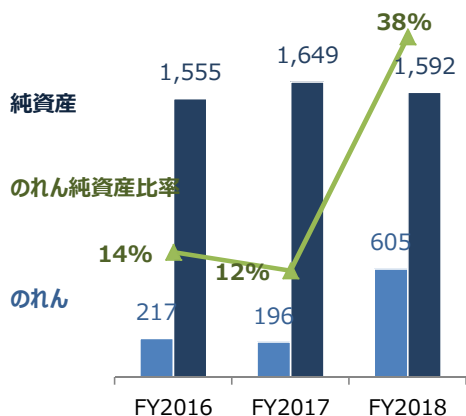
※2018年度のCCCはBlommerを除く既存事業

### ROE

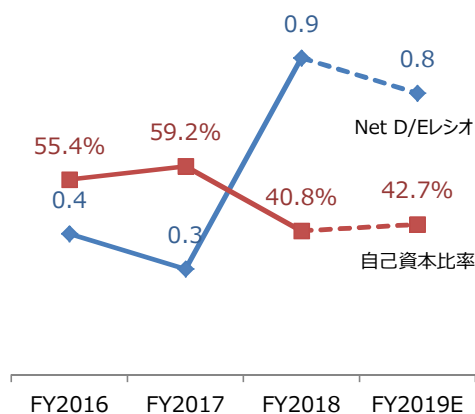


### のれん純資産比率

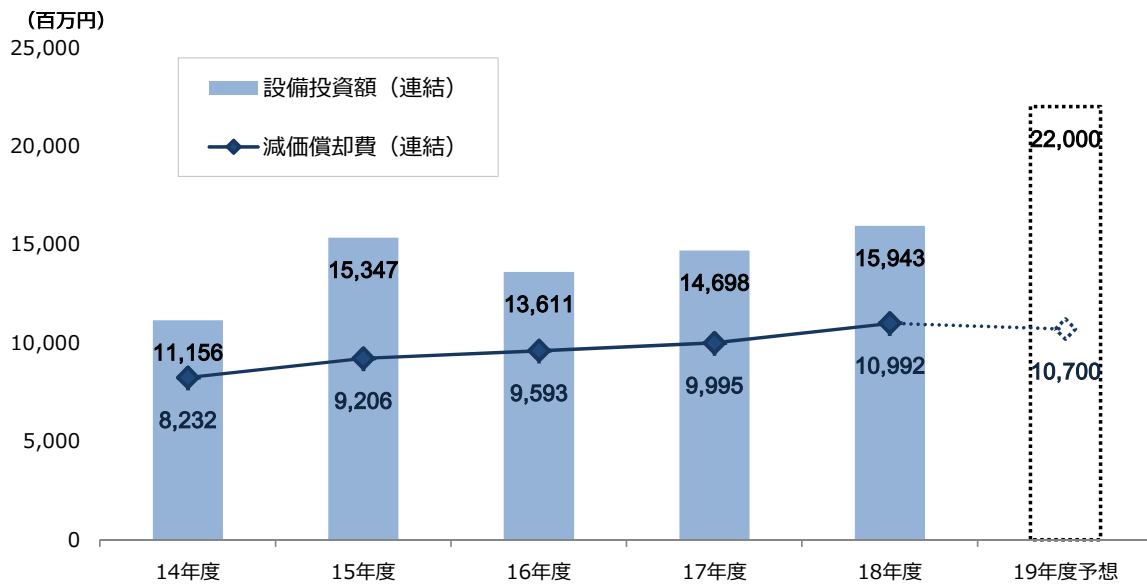
(単位：億円)



### Net D/レシオ 自己資本比率

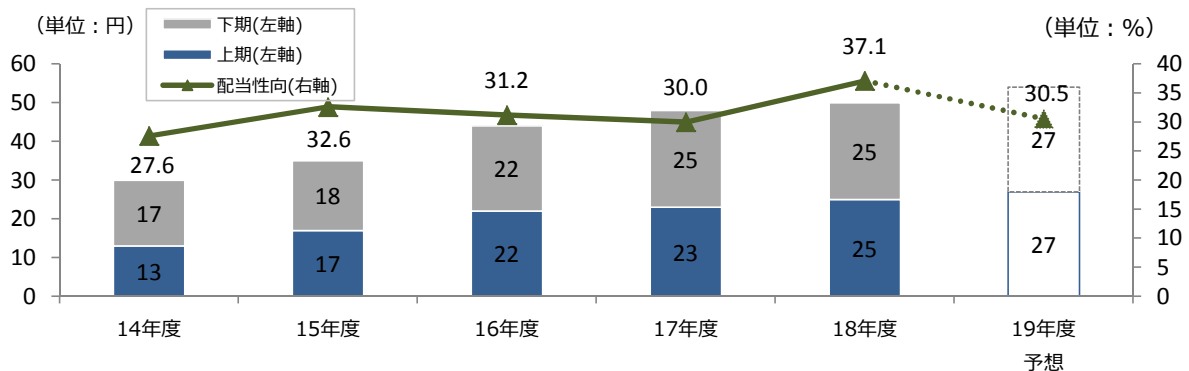


## ◆7.設備投資額・減価償却費の推移



2018年度実績		2019年度計画	
設備投資	159億円	設備投資	220億円
＜主な投資内容＞		＜主な投資内容＞	
・中国 フィリング・マーガリン 新拠点設立	23億円	・北米 油脂 新拠点設立	51億円
・北米 油脂 新拠点設立等	12億円	・Blommer設備投資	13億円
減価償却	110億円	減価償却	107億円

## ◆8.配当の推移



単位：円

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 予想
上期	12	12	13	13	17	22	23	25	27
下期	12	13	13	17	18	22	25	25	27
配当性向	24.9%	25.8%	27.4%	27.6%	32.6%	31.2%	30.0%	37.1%	30.5%
合計	24	25	26	30	35	44	48	50	54



## ◆9. 売上高・営業利益（地域・部門別）

※セグメント・セグメント名称変更後

### 売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	対前年	実績	対前年	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 予想	36,900	118	29,700	918	20,400	2,607	3,400	507	23,500	78	113,900	4,225
	2018	36,782	▲502	28,782	▲2,392	17,793	194	2,893	▲653	23,422	▲552	109,675	▲3,903
	2017	37,284		31,174		17,599		3,546		23,974		113,578	
業務用 チョコレート	2019 予想	39,400	840	133,400	116,153	11,600	1,738	3,000	104			187,400	118,834
	2018	38,560	1,100	17,247	▲2,374	9,862	728	2,896	554			68,566	9
	2017	37,460		19,621		9,134		2,342				68,557	
乳化・発酵 素材	2019 予想	64,000	1,513			13,400	2,034	14,100	1,461			91,500	5,008
	2018	62,487	▲3,544			11,366	418	12,639	2,113			86,492	▲1,013
	2017	66,031				10,948		10,526				87,505	
大豆加工 素材	2019 予想	34,500	1,371					2,700	▲281			37,200	1,090
	2018	33,129	▲1,861					2,981	▲33			36,110	▲1,894
	2017	34,990						3,014				38,004	
売上高計	2019 予想	174,800	3,841	163,100	117,070	45,400	6,378	23,200	1,790	23,500	78	430,000	129,156
	2018	170,959	▲4,805	46,030	▲4,765	39,022	1,341	21,410	1,981	23,422	▲552	300,844	▲6,801
	2017	175,764		50,795		37,681		19,429		23,974		307,645	

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高（内部取引は消去後の売上高）

### 営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	対前年	実績	対前年	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 予想	3,662	▲322	2,210	457	1,498	569	419	113	1,294	129	1	▲8			9,084	936
	2018	3,984	1,199	1,753	▲545	929	▲284	306	▲186	1,165	735	9	▲58			8,148	860
	2017	2,785		2,298		1,213		492		430		67				7,288	
業務用 チョコレート	2019 予想	6,687	241	2,351	991	1,141	180	74	102			43	1,349			10,296	2,864
	2018	6,446	302	1,360	▲43	961	175	▲28	▲136			▲1,306	▲1,347			7,432	▲1,051
	2017	6,144		1,403		786		108				41				8,483	
乳化・発酵 素材	2019 予想	2,363	533			868	670	1,117	126			▲49	▲349			4,300	980
	2018	1,830	▲792			198	▲1,056	991	408			300	285			3,320	▲1,152
	2017	2,622				1,254		583				15				4,472	
大豆加工 素材	2019 予想	3,433	785					559	▲25			138	82			4,130	841
	2018	2,648	▲522					584	279			56	▲14			3,289	▲257
	2017	3,170						305				70				3,546	
連結調整	2019 予想	232	1,420	0	9	15	60	▲29	▲29			▲218	▲1,461				
	2018	▲1,188	▲1,436	▲9	▲16	▲45	▲38					1,243	1,491				
	2017	248		7		▲7						▲248					
グループ 管理費用	2019 予想													▲3,809	▲144	▲3,809	▲144
	2018													▲3,665	▲357	▲3,665	▲357
	2017													▲3,308		▲3,308	
営業利益計	2019 予想	16,377	2,655	4,561	1,458	3,523	1,479	2,140	287	1,294	129	▲85	▲386	▲3,809	▲144	24,000	5,475
	2018	13,722	▲1,249	3,103	▲606	2,044	▲1,202	1,853	366	1,165	735	301	356	▲3,665	▲357	18,525	▲1,956
	2017	14,971		3,709		3,246		1,487		430		▲55		▲3,308		20,481	

### ポイント

- ・2018年度より、グループ本社および一部エリア統括会社で計上するグループ管理費用を、外出して表示するよう変更している。各期は遡及修正済み。
- ・フジオイルタイランド社のセグメント変更（油脂部門→製菓・製パン素材部門）を遡及修正済み。
- ・セグメント変更と名称変更を実施。製菓・製パン素材を業務用チョコレート、乳化・発酵素材に変更、油脂を植物性油脂、大豆を大豆加工素材に変更。
- ・また、エリアをアジアを東南アジア、中国にそれぞれ変更。

	18年度	19年度
植物性油脂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本 原材料の安定した推移に加え、採算を重視した販売の継続により増益。</li> <li>・米州 天候等の特殊要因を主因に減益。</li> <li>・東南アジア コモデティ油脂等の原材料の採算悪化などにより減益。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採算重視の販売継続するも減益の計画。</li> <li>・チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。</li> <li>・チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。</li> </ul>
業務用 チョコレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本 お土産向けやカラーチョコレート等が堅調に推移。</li> <li>・米州 採算重視の販売を実施もリアル安などにより減益。</li> <li>・東南アジア 中国 東南アジアは堅調に推移したことにより増益。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーチョコレートのライン増設寄与などにより増益計画。</li> <li>・Blommerの新規連結寄与により増益計画。</li> <li>・IFS(オーストラリアのチョコレート製造会社)の連結、中国での拡販を図る計画。</li> </ul>
乳化・発酵素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国新工場稼働による伸長も、日本での販売減少により減益。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本での新市場での拡販に加え、中国新工場通期寄与により増益計画。</li> </ul>
大豆加工素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆たん白食品の工場修繕等に伴う販売減少などにより減益。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆たん白食品の販売回復などにより、増益計画。</li> </ul>

◆参考.2018年度売上高・営業利益（地域・部門別）※セグメント・セグメント名称変更前

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		アジア		米州		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
油脂	2018	36,782	▲502	20,686	▲459	28,782	▲2,392	23,422	▲552	109,675	▲3,903
	2017	37,284	▲1,379	21,145	1,416	31,174	3,920	23,974	3,132	113,578	7,088
	2016	38,663		19,729		27,254		20,842		106,490	
製菓・製パン 素材	2018	101,047	▲2,443	36,763	3,813	17,247	▲2,374			155,058	▲1,004
	2017	103,490	854	32,950	6,315	19,621	2,062			156,062	9,231
	2016	102,636		26,635		17,559				146,831	
大豆	2018	33,129	▲1,861	2,981	▲33					36,110	▲1,894
	2017	34,990	▲1,116	3,014	▲105					38,004	▲1,222
	2016	36,106		3,119						39,226	
売上高計	2018	170,959	▲4,805	60,432	3,322	46,030	▲4,765	23,422	▲552	300,844	▲6,801
	2017	175,764	▲1,642	57,110	7,626	50,795	5,982	23,974	3,132	307,645	15,098
	2016	177,406		49,484		44,813		20,842		292,547	

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高（内部取引は消去後の売上高）

営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		アジア		米州		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
油脂	2018	3,984	1,199	1,235	▲470	1,753	▲545	1,165	735	9	▲58			8,148	860
	2017	2,785	▲174	1,705	272	2,298	680	430	▲441	67	▲1			7,288	337
	2016	2,959		1,433		1,618		871		68				6,951	
製菓・製パン 素材	2018	8,276	▲490	2,121	▲608	1,360	▲43			▲1,006	▲1,061			10,753	▲2,201
	2017	8,766	125	2,729	260	1,403	677			55	83			12,954	1,146
	2016	8,641		2,469		726				▲28				11,808	
大豆	2018	2,648	▲522	584	279					56	▲14			3,289	▲257
	2017	3,170	279	305	▲218					70	▲97			3,546	▲36
	2016	2,891		523						167				3,582	
連結調整	2018	▲1,188	▲1,436	▲45	▲38	▲9	▲16			1,243	1,491				
	2017	248	▲55	▲7	▲4	7	14			▲248	44				
	2016	303		▲3		▲7				▲292					
グループ管理 費用	2018											▲3,665	▲357	▲3,665	▲357
	2017											▲3,308	▲660	▲3,308	▲660
	2016											▲2,648		▲2,648	
営業利益計	2018	13,722	▲1,249	3,897	▲836	3,103	▲606	1,165	735	302	357	▲3,665	▲357	18,525	▲1,956
	2017	14,971	176	4,733	310	3,709	1,373	430	▲441	▲55	29	▲3,308	▲660	20,481	787
	2016	14,795		4,423		2,336		871		▲84		▲2,648		19,694	

(注) 2016年度通期、2017年度通期におきましては、費用配分等の修正を行なっております。

## ◆10. 中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)

開示セグメントの変更・およびグローバル各エリアでの事業成長に伴い、今期より集計対象・区分を変更して掲載しております

(対前年同期比%)

セグメント	製品群		2017						2017 (年間)	2018						2018 (年間)	2019 (年間予想)
			1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		
植物性油脂	チョコレート用油脂	日本	105%	90%	97%	102%	100%	101%	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%	100%
		米州	89%	89%	89%	76%	88%	82%	85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%	119%
		東南アジア	92%	98%	95%	133%	111%	122%	108%	112%	102%	107%	80%	98%	88%	97%	102%
		中国	106%	97%	102%	128%	116%	122%	114%	83%	103%	90%	96%	87%	91%	91%	103%
		欧州	113%	91%	102%	100%	105%	102%	102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%	98%
		合計	96%	93%	95%	105%	102%	104%	99%	103%	102%	103%	91%	95%	93%	97%	105%
業務用チョコレート	チョコレート	日本	99%	101%	100%	99%	107%	103%	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%	103%
		米州	100%	72%	89%	91%	89%	90%	89%	93%	92%	92%	102%	135%	110%	101%	106%※
		東南アジア	128%	121%	124%	147%	107%	123%	124%	104%	98%	101%	101%	107%	104%	103%	127%
		中国	88%	100%	95%	95%	85%	89%	92%	141%	114%	127%	114%	121%	118%	122%	106%
		欧州	114%	106%	110%	104%	101%	102%	105%	122%	131%	127%	91%	117%	105%	123%	105%
		合計	104%	95%	100%	103%	99%	101%	101%	100%	96%	98%	105%	110%	107%	103%	110%
乳化・発酵素材	クリーム	日本	93%	105%	98%	110%	110%	110%	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%	103%
		東南アジア	95%	117%	107%	131%	137%	134%	120%	132%	103%	115%	99%	106%	103%	109%	116%
	マーガリン・ショートニング	日本	100%	94%	97%	98%	100%	99%	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%	94%
		中国	112%	114%	113%	116%	104%	110%	110%	95%	99%	97%	92%	122%	106%	103%	145%
フィリング	中国	160%	159%	160%	178%	145%	159%	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%	116%	
大豆加工素材	大豆たん白素材	日本	105%	106%	105%	100%	100%	100%	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%	103%
	大豆たん白食品	日本	94%	99%	97%	84%	81%	83%	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%	106%
	機能剤	日本	106%	111%	108%	96%	99%	98%	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%	113%

※Blommerの数量は除く

## ポイント

植物性油脂	18年度：チョコレート用油脂の数量は、米州、東南アジア、中国で高付加価値のCBEの販売は堅調だったものの、日本は採算性を重視した販売を継続したことに加え、海外ではCBSなどの販売数量が減少したことから、数量は減少となった。 19年度：チョコレート用油脂の販売数量計画は、グローバルでのチョコレートの販売増を背景に、米州、東南アジアでのチョコレート用油脂の販売数量増加を見込む。
業務用チョコレート	18年度：業務用チョコレートの販売数量は、日本での猛暑の影響等による減少はあったものの、IFSの新規連結寄与、中国、欧州での販売伸長により堅調に推移した。 19年度：業務用チョコレートの販売数量は、IFSの新規連結、東南アジアでの販売拡大、日本でのカラーチョコレートを中心とした数量増、欧州での数量増を図り、数量増を計画。
乳化・発酵素材	18年度：中国での新工場寄与により、フィリングが大幅に増加した。 19年度：中国での新工場の通期寄与により、マーガリン、フィリングの販売増を計画。
大豆加工素材	18年度：大豆たん白食品が冷凍豆腐の工場修繕により、販売数量が減少した。 19年度：大豆たん白食品の工場修繕の影響がなくなることに加え、機能剤の水溶性大豆多糖類の堅調な需要をそれぞれ見込む。

◆参考.【不二製油（日本）】主要製品別 国内販売数量・売上高(対前年同期比)

今期より集計対象・区分を変更しておりますが（P11）、FY2018実績は従来の区分で掲載しております

製品群	参考		2016 (年間)	2017						2017 (年間)	2018						2018 (年間)
				1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)	
食用加工油脂	フライ用油脂・スプレー油・ 冷菓用油脂 粉末油脂 など	数量	104%	99%	91%	95%	84%	90%	87%	91%	96%	104%	100%	101%	101%	101%	101%
		売上	101%	107%	97%	102%	91%	93%	92%	97%	94%	99%	96%	95%	91%	93%	95%
チョコレート用油脂	CBE・CBS・CBR	数量	109%	105%	90%	97%	102%	100%	101%	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%
		売上	106%	101%	89%	94%	99%	99%	99%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%
油脂		数量	105%	99%	91%	95%	86%	91%	88%	92%	96%	104%	100%	101%	101%	101%	100%
		売上	102%	105%	94%	99%	93%	94%	93%	96%	96%	100%	98%	97%	93%	95%	96%
チョコレート	アイス用・コーティング用 成型チョコレート カラーチョコレートなど	数量	104%	99%	101%	100%	99%	107%	103%	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%
		売上	105%	99%	100%	99%	99%	103%	101%	100%	101%	91%	96%	99%	93%	96%	96%
クリーム	ホイップクリーム ドリンクベース 練り込み用クリーム など	数量	97%	93%	105%	98%	110%	110%	110%	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%
		売上	96%	89%	105%	96%	107%	111%	109%	103%	106%	103%	105%	96%	99%	98%	101%
マーガリン・ショートニング	マーガリン ショートニング	数量	99%	100%	94%	97%	98%	100%	99%	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%
		売上	96%	100%	96%	98%	99%	99%	99%	99%	98%	100%	99%	100%	95%	98%	98%
調製品	粉乳調製品 バター調製品など	数量	75%	63%	100%	80%	110%	94%	102%	90%	139%	95%	114%	100%	92%	96%	105%
		売上	73%	69%	104%	86%	124%	112%	118%	101%	145%	110%	124%	98%	86%	92%	107%
製菓・製パン素材		数量	97%	95%	100%	97%	102%	103%	103%	100%	101%	96%	98%	97%	93%	95%	97%
		売上	98%	97%	101%	99%	102%	102%	102%	101%	101%	97%	99%	99%	94%	97%	98%
大豆たん白素材	粉状大豆たん白 粒状大豆たん白	数量	100%	105%	106%	105%	100%	100%	100%	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%
		売上	97%	101%	102%	101%	97%	99%	98%	100%	104%	104%	104%	108%	106%	107%	106%
大豆たん白食品	冷凍豆腐 がんもどき 豆腐ハンバーグ など	数量	97%	94%	99%	97%	84%	81%	83%	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%
		売上	98%	94%	101%	98%	84%	84%	84%	91%	86%	85%	86%	106%	104%	105%	95%
機能剤	水溶性大豆多糖類 大豆ペプチド	数量	108%	106%	111%	108%	96%	99%	98%	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%
		売上	108%	108%	114%	111%	97%	102%	100%	105%	97%	111%	104%	91%	107%	99%	102%
原豆乳	業務用豆乳	数量	97%	92%	103%	98%	106%	93%	99%	98%	95%	88%	92%	101%	101%	101%	96%
		売上	94%	93%	103%	98%	108%	94%	101%	99%	95%	91%	93%	114%	112%	113%	103%
大豆		数量	101%	95%	99%	97%	97%	96%	96%	97%	98%	97%	98%	101%	101%	101%	99%
		売上	99%	100%	104%	102%	93%	94%	93%	97%	96%	98%	97%	105%	105%	105%	101%
合計		数量	101%	97%	96%	96%	93%	96%	95%	95%	98%	100%	99%	100%	98%	99%	99%
		売上	99%	100%	100%	100%	98%	98%	98%	99%	99%	98%	98%	99%	96%	98%	98%

(注) 社内区分変更のため、一部過去に配布の資料と数値が異なります

◆参考.海外及び中計戦略製品群 販売数量

製品群	内容		2016 (年間)	2017						2017 (年間)	2018						2018 (年間)
				1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)	
チョコレート用油脂	CBE・CBS・CBR	アジア	114%	93%	98%	95%	133%	111%	122%	109%	110%	102%	106%	81%	97%	89%	96%
		米州	107%	89%	89%	89%	76%	88%	82%	85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%
		欧州	102%	113%	91%	102%	100%	105%	102%	102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%
		海外計	109%	95%	93%	94%	106%	102%	104%	99%	104%	103%	104%	90%	94%	92%	97%
チョコレート	アイス用チョコレート コーティング用チョコレート 成型チョコレート ペーストチョコレート カラーチョコレートなど	アジア	116%	120%	118%	119%	135%	102%	116%	117%	109%	100%	104%	103%	109%	106%	105%
		米州	102%	100%	72%	89%	91%	89%	90%	89%	93%	92%	92%	102%	135%	110%	101%
		欧州	113%	114%	106%	110%	104%	101%	102%	105%	122%	131%	127%	91%	117%	105%	123%
		海外計	107%	106%	84%	99%	106%	95%	100%	100%	99%	100%	100%	102%	134%	116%	109%
クリーム	ホイップクリーム など	アジア	102%	93%	112%	105%	131%	136%	134%	119%	135%	104%	118%	101%	108%	105%	111%
マーガリン・ショートニング	マーガリン・ショートニング	アジア	112%	112%	114%	113%	116%	104%	110%	110%	95%	99%	97%	91%	129%	108%	99%
フアイリング	カスタードクリーム など	アジア	152%	160%	159%	160%	178%	145%	159%	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%

(注) 18年度3Qからオーストラリアのチョコレート会社IFSの数値を加えたことから、適及修正済み。

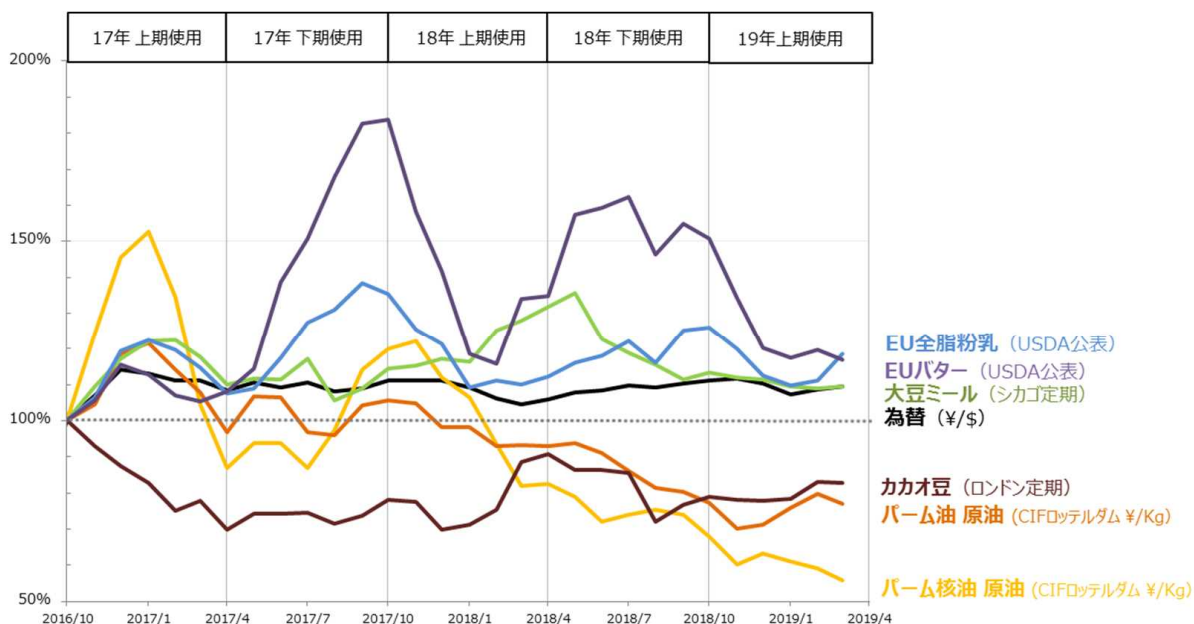
水溶性大豆多糖類	数量	108%	106%	111%	108%	99%	103%	101%	105%	98%	115%	106%	91%	111%	101%	104%
USS (Ultra Soy Separation)	数量	129%	129%	117%	123%	123%	86%	104%	114%	65%	69%	67%	72%	87%	78%	72%

## ◆ 11. 主要関連相場

- ・当グループ事業に影響のある主な原料の国際相場について、円換算した価格を指数化し一覧化したものであり、実際の使用原料相場とは相違があります。
- ・当グループの原料手当て期間に合わせ、使用時期と手当時期を半年ずらして表示しています。

主要関連原料相場推移（円換算後）

※2016/10/1の相場を100とする



### 主な為替レート

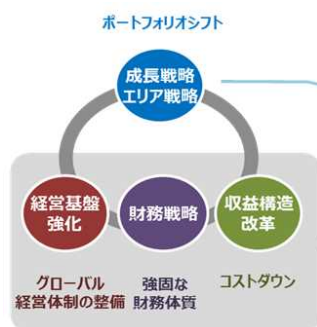
・ P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

		2017年度	2018年度	対前年同期		2019年度
		期末	期末	差	増減率	予想
\$	P/L	112.19	110.43	▲1.76	▲1.6%	113.00
	B/S	113.00	111.00	▲2.00	▲1.8%	
BRL	P/L	35.16	30.38	▲4.78	▲13.6%	28.25
	B/S	34.16	28.65	▲5.51	▲16.1%	
€	P/L	126.67	130.42	+3.75	+3.0%	132.00
	B/S	134.94	127.00	▲7.94	▲5.9%	
元	P/L	16.63	16.72	+0.09	+0.5%	16.50
	B/S	17.29	16.16	▲1.13	▲6.5%	

・当グループでは、仕入れは為替予約を用いて実施しています。

## ◆12. 中期経営計画

### 基本戦略



### 基本方針

- ①コアコンピタンスの強化
- ②大豆事業の成長
- ③機能性高付加価値事業の展開
- ④コストダウンとグローバルスタンダードへの統一

	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度予想		20年度目標
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	9.4%	—	10.0%
売上高純利益率	4.1%	4.5%	3.8%	—	—	約5%
総資産回転率	107.5%	113.6%	78.5%	—	—	約115%
財務レバレッジ	1.8倍	1.7倍	2.5倍	—	—	約1.8倍
EPS	140.8円	159.9円	134.7円	176.8円	3年間のCAGR 7.9%	EPS CAGR 8%以上
EPS成長率	31.2%	13.5%	▲15.7%	31.2%		
営業利益	19,694	20,481	18,526	24,000	3年間のCAGR 6.8%	営業利益 CAGR 6%以上
営業利益成長率	16.9%	4.0%	▲9.5%	29.5%		
株主還元 (配当性向)	31.2%	30.0%	37.1%	30.5%	—	配当性向 30-40%
営業キャッシュフロー	165億円	282億円	226億円	320億円	3年間の累計 828億円	4か年累計 1,000億円
CCC	110日	103日	※ 105日	105日	—	CCC 10日間の短縮
売上債権	74日	76日	—	—	—	
棚卸資産	65日	57日	—	—	—	
仕入債務	29日	30日	—	—	—	
設備投資	136億円	147億円	159億円	220億円	3年間の累計 526億円	4か年累計 600-700億円
M&A	—	—	Blommer・IFS	—	—	500億円の資金確保

※18年度のCCCはBlommerを除く既存事業

## ◆13. トピックス

2018年5月	「グリーンバンスメカニズム（苦情処理メカニズム）」構築
2018年6月	不二製油（張家港）フジサニープラザ済南を設立
2018年7月	富士通と不二製油、情報システムに関する業務提携
	茨城大学と不二製油グループ本社が大学から企業へのクロスアポイントメント制度を実施
	Industrial Food Services（オーストラリアの業務用チョコレート製造企業）株式取得
	「サステナビリティレポート2018」を公開
2018年8月	ハラルド社の100%子会社化
	フジ ヨーロッパ アフリカ 統括会社設立
	「責任あるカカオ豆調達方針」を策定 統合報告書「不二製油グループ 統合報告書2018」発行
2018年10月	日本証券アナリスト協会「2018年度 ディスクロージャーの改善が著しい企業」に選定
	「フードバレー財団」に加盟
2018年11月	日本IR協議会 IR優良企業賞 受賞
2019年1月	CDP「フォレストAリスト」に選定
	米国Blommer Chocolate Company社の株式取得
2019年2月	吉林不二蛋白有限公司の持分譲渡手続き完了